

陳情第25号	平成24年6月6日受理
付託委員会	議会運営委員会
件名	「陳情、請願の審理に当たっては、陳情者、請願者からの要請がある場合、審理の現場において補足陳述の機会を与えることを明確に認めるよう市議会に求める」件
陳情要旨	
<p>言葉を重ねる必要がないほどに、切実な問題であります。</p> <p>ややもすれば、「いかにも厄介」と言わんばかりに、発言、討論に参加する積極的意思すらもない態度をあからさまにする委員も皆無でないのが、八千代市議会の常態であります。「沈黙は金」とでも誤解しているのではないか。</p> <p>つまり、通り一遍かつ市民の存在を無視、愚弄すらしているのではないかとの強い不快感を与える委員すら存在することは、市議各位の間にも内心で感じておられる向きがあろうと推測する次第であります。</p> <p>「議会の活性化」という上品ながら単なる常套句に終わらせている当市議会の真の活性化は、日々行政、市議会運営に疑問を感じている市民との真剣かつ建設的な直接対話に近い場をできるだけ多く与えることであると確信します。その最適で安直な場が陳情者、請願者の発言機会であるはずです。</p> <p>市議会の誠意を示していただきたいものです。</p>	